

科目名	生活リハビリとレクリエーション					単位	2.0
担当教員	荒深 裕規						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	3	授業番号	1112

●授業のテーマ

利用者の思いを十分に受けとめる福祉レクリエーションの目標と計画。

●到達目標

利用者の楽しみのニーズをとらえる方法を理解する。そして、それらと施設の理念や方針とを合わせ持つレクリエーション活動の目標・計画づくりができるようになる。

●学習内容(授業概要)

様々な福祉施設でのレクリエーション計画の実例を学ぶことにより、その計画の概要を知る。そして、個々のニーズとレクリエーションサービスの活用を反映させた目標設定・計画立案について学ぶ。

●学習内容(授業計画)

1. 福祉レクリエーション支援の復習 (1) A P I E プロセスと T R サービスモデル
2. (2) 行動変容に向けた効果的な支援
3. 福祉レクリエーション計画はなぜ必要なのか
4. 在宅サービスの中での福祉レクリエーション計画の事例
5. 入居サービスの中での福祉レクリエーション計画の事例
6. 計画立案のための情報分析 (1) 分析と概念化
7. (2) 検討と決定
8. 利用者の現状とニーズの把握 - I C F を活用したアセスメント-
9. 福祉サービスの理念と事業者の役割-事業としてのレクサービス-
10. 介護予防デイサービスの事例 (1) 施設の理念と社会資源、利用者のアセスメント
11. (2) レクサービス活用計画とレク活用支援プラン
12. 利用者の思いを生かした総合計画・レクリエーションサービス計画
13. グループレクリエーションの実例
14. 行事・イベントの計画と実例
15. 福祉レクリエーション支援の評価

●準備学習・事後学習の内容

教科書の中の事例について、その施設の種別や特徴などについて調べておく。

●成績評価方法・基準

試験 40%、提出物 40%、平常点 20%。

●テキスト(必携)

書籍名：楽しさの追求を支えるサービスの企画と実施 出版社：中央法規 日本レクリエーション協会

●参考文献／その他
授業時に指示する

●履修上の注意
事例にある福祉施設の概要について、十分な知識を持って履修する。